

R5.1.27 地域コミュニティ及び「地域未来予測」に基づく
広域連携等に関する取組に係る意見交換会資料

須恵町立須恵第三小学校区コミュニティ
「ふれあいレインボー」における実践

須恵町役場まちづくり課 コミュニティプランナー兼ふれあいレインボー事務局長

栗原 美喜男

ふれあい夏フェス(8月)



ふれあい冬フェス・イルミネーション点灯式(12月~1月)



1 コロナ禍の中でコミュニティ活動はできたのか

令和2・3・4年年度コロナ禍の中で地域のコミュニティ活動はできましたか？

コミュニティ会議は？

イベントは？

地域のお祭りは？

2 紹介

福岡県糟屋郡須恵町紹介



○福岡市の東側に位置する糟屋郡。北は篠栗町、東は飯塚市、南は宇美町、西は志免町および粕屋町に接している。

○人口は、令和4年現在 29,300人程度。

○博多駅までJRで約20分、空港まで車で25分、町内には3つのJRの駅がある。

○旧国鉄の炭鉱があった町で炭鉱住宅のなごりがある。

○須恵スマートインターもあり、福岡市のベッドタウンとして現在も、人口は微増中。

○転入者が多く、昔から居住する世帯に加え、新しい世帯も増加中で都市型の町に変わりつつある。

須恵第三小学校区コミュニティ「ふれあいレインボー」の紹介

(1) 須恵町まちづくり課が所管するコミュニティセンター

- ・運営予算は町からの補助金と各行政区からの補助金

(2) 須恵町にある三つの小学校区の中の須恵第三小学校区のコミュニティセンター

- ① 須恵第三小学校区にある7行政区を統轄し、地域におけるコミュニティ活動を推進する事務局
- ② 同区に住む住民からなる自治活動を推進する「ふれあいレインボー推進会議」活動拠点

自分の紹介

糟屋郡須恵町「まちづくり課」

コミュニティプランナー兼

ふれあいレインボーコミュニティセンター

事務局長

栗原 美喜男 と申します。

本日は、つたない実践発表で皆様のご参考になるかわかりませんがどうぞよろしく願いいたします。

今日の発表は、この
取材がきっかけです。

KIZUNA

No.21

令和4年9月発行

福岡県の地域コミュニティ情報誌



定着と共生を目指した地域づくり

須恵第三小学校区コミュニティふれあいレインボー（須恵町）

ふるさとをつなげる

岩屋地域づくり協議会（東峰村）





全景



正面



外ステージ



玄関



講義室



中庭

ふれあいレインボーがやっていること



HUG



夏フェス



花植えボランティア



新しく企画したもの



イルミネーション



学びの広場



マルシェ

盛り上がってます



冬フェス

環境改善事業 行政協働事業



地域の人による環境改善事業



健康増進課による終活セミナー



住民課によるマイナンバー申請

3 もしコミュニティ活動がなくなったら

コミュニティ活動がなくなったら……

コミュニティ活動の目的

- 地域住民の自治活動による「まみよいまちづくり」の創造
- 様々な活動をしくみながら、あつめての地域の活性化の創出
- 地域住民の文化活動やスポーツ活動を援助していく生涯学習の場の提供

ウェルビーイング:「個人」の幸せと周囲の「場」のよい状態

(1)ふれあいレインボーにおけるコロナ対応について

①コミュニティにおけるコロナ感染症の功罪とコロナさぼり

功・・・合理的な生活(テレワーク、会議等)

罪・・・イベント中止

地域行事の衰退

・別に開催しなくてもいいやない～

・面倒な準備や打ち合わせがなくて助かった～

・外に出る機会が減ったな～

→ コミュニティの希薄化

コロナ禍が収束した時.....

・やるのがめんどうくさいな～

・どうするのだったっけ?～

・もうしなくてもいいんじゃない～

「コロナさぼり」→「コロナ感染症の、関連は薄いと思われるものの、安易にコロナ感染症を理由にして開催可能な会議やイベントを実施しないこと。または、開催方法を模索しないこと。」とふれあいレインボーでは呼ぶこととする。そしてこれはNGである。

②ふれあいレインボーが考えるコロナ禍での行事の実施と中止における影響(メリット・デメリット表)

	メリット	デメリット
実施	<ul style="list-style-type: none"> ○地域コミュニティが深まる ○実行委員などの関係者が地域リーダーとしての資質が高まる ○地域が活性化する(皆が喜ぶ、賑わいが出る) ○地域愛が深まる ○高齢者など外に出るチャンスが増える ○家族で語らう機会が増える ○その他 	<ul style="list-style-type: none"> ○コロナ感染のリスクが増える ○コロナ対策を含めた、細心の注意を払った実施案や運営マニュアルが必要になる ○多数の理解者、協力者が必要になる ○コロナ感染が行事開催原因と判明した場合、責任はとれない、批判にさらされる可能性がある ○開催場所近辺に住む住民に不安を与える ○その他
中止	<ul style="list-style-type: none"> ○コロナ感染のリスクが減る ○企画や準備など面倒なことをしなくて済む(住民の負担が減る) ○お金がかからない ○責任を負うことがない ○その他 	<ul style="list-style-type: none"> ○実施メリットとして挙げたことができない

③夏フェス(8月6日土曜日)実施を例に(2年間は中止状態)

「夏祭り」と称して小学校運動場で過去20回開催されていた

○令和4年度当初の雰囲気

今年も無理じゃない??

理由は・・・

理由① 実行委員や運営委員が高齢化し、協力者が減ってきた

理由② 地球温暖化のため暑すぎて小学校に会場設営することが困難

理由③ 出店やステージ発表者を探すのが困難

つまり

面倒

以上の理由だけならやめる理由にするには弱い、ましてや面倒とはいえない。

そして理由④ コロナ感染症も心配やし(伝家の宝刀)・・・中止にする決定的な理由

これって**コロナさぼり**かも??

そこで無理な理由を克服した「夏祭り」に替わる「夏フェス」を提案

- 高齢化→おやじの部会を運営主体にすることで世代交代を図る高齢者の負担をなくす
- 準備が困難→会場を変え準備を簡略化
- 出店・発表者→キッチンカーでの出店に変更、発表者を行政区にこだわらず広く一般から募集
- コロナ感染症→規模を縮小し来場者の人数抑制、手指消毒場の設定

3年間中止した場合の夏イベント存続の危険性

- ①地域コミュニティの衰退
- ②推進会議の存続
- ③再開できた時の運営の仕方
- ④その他

→区長会全員一致で賛成 →役員会へ（全員一致で賛成 ※どさくさまぎれに煙火打ち上げ提案） →おやじ部会へ（大賛成）→第7波真ただ中の開催
※集客約3000人

4 ふれあいレインボーのコミュニティ推進方法について

(1) 地域コミュニティを育てていくための基本方針

- ① 魅力ある事業の提供(事業あつてのコミュニティ)
住民が参加したい、遊びに行ってみたい
(マルシェ、学びの広場、フリーマーケット、夏フェス)
- ② 地域住民へのふれあいレインボーコミュニティセンターの周知
多くの住民にふれあいレインボーのことを知ってもらう。
(場所、活動内容、組織など)
- ③ ふれあいレインボーの活動に参加から参画へつなぐ
(推進委員、実行委員、おやじ部会員)

(2) 年間推進構想の策定と年間計画の作成

令和3年推進構想

○令和3年度重点目標

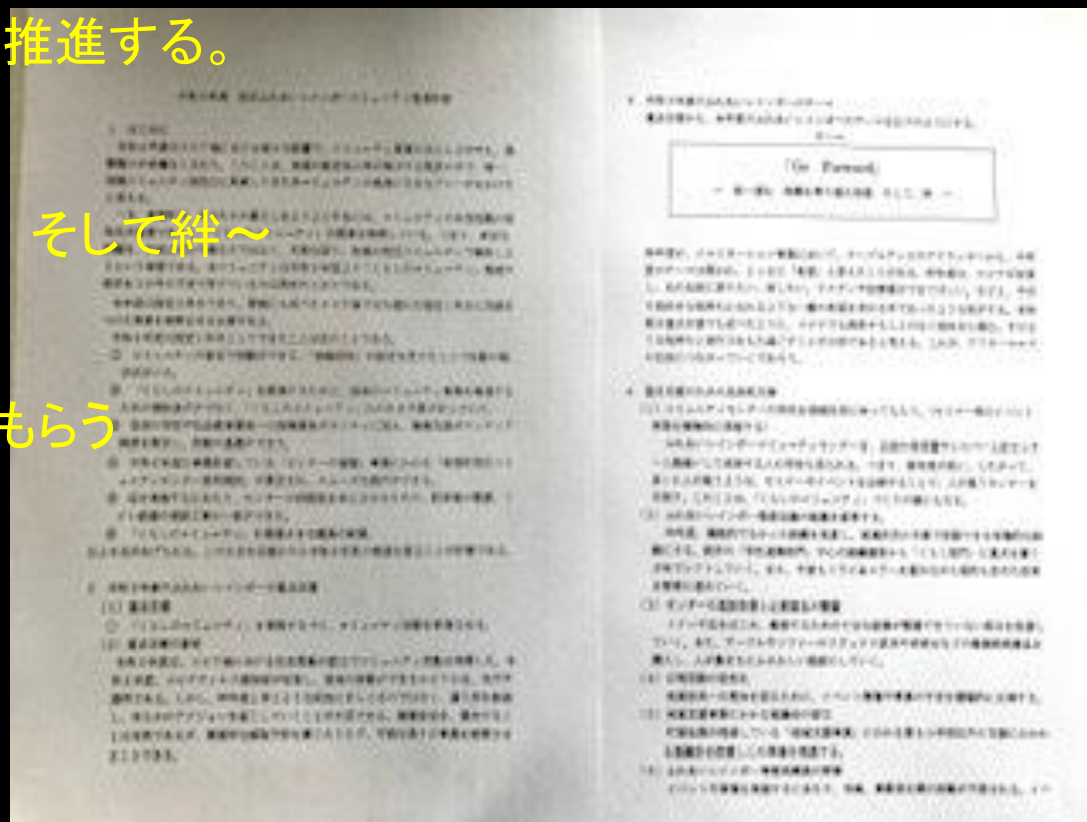
くらしのコミュニティを実現すべくコミュニティ活動を推進する。

○テーマ

GO FORWARD ～前へ進む 困難を乗り越え前進 そして絆～

○具体的方策

- ①コミュニティセンターの存在を地域住民に知ってもらう
- ②推進会議の組織を改革する
- ③センターの施設改善と必要備品の整備をする
- ④広報活動を活発化する
- ⑤福祉に係る地域支援事業の協議会を設立する
- ⑥事務局員の研修を深める



令和4年推進構想

○令和4年度重点目標

くらしのコミュニティを機能させるべくコミュニティ活動の定着と共生を図る

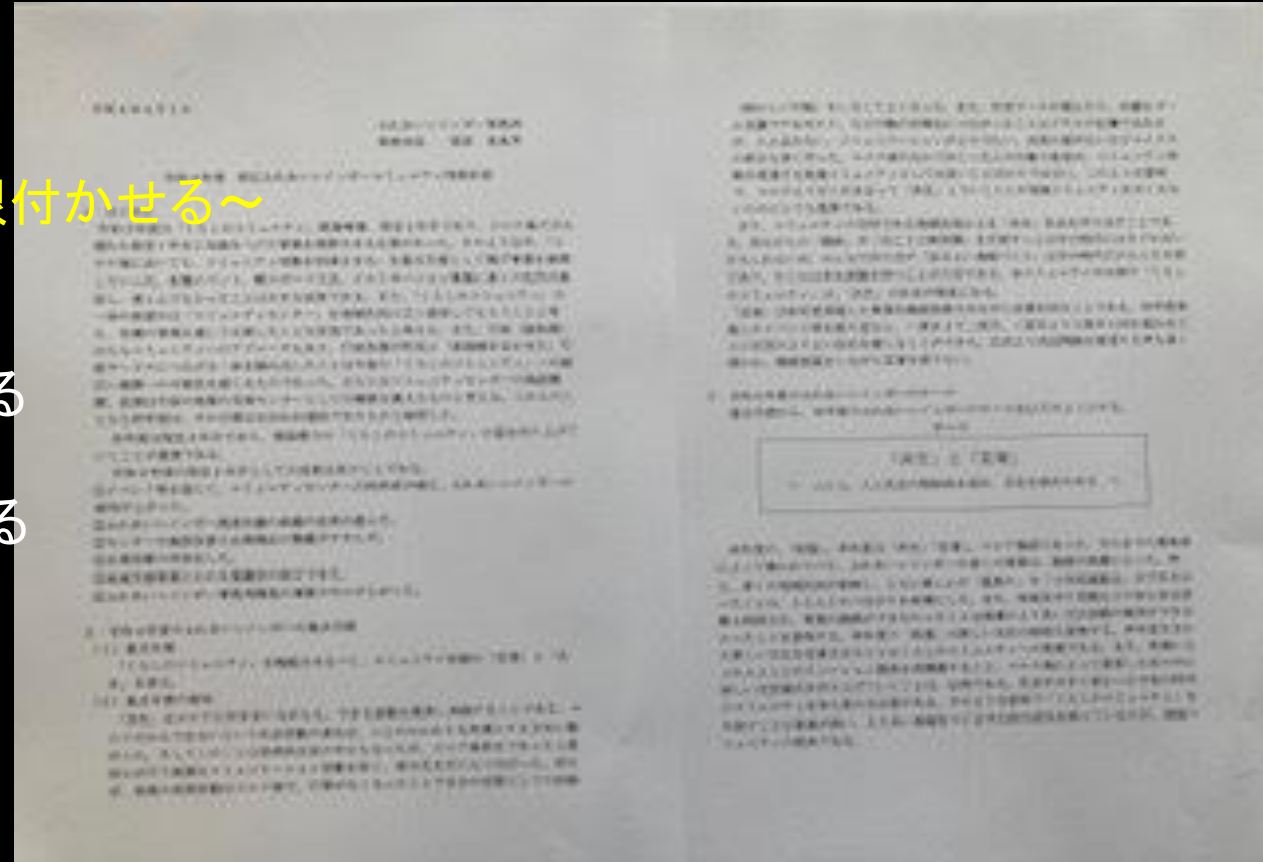
○テーマ

「定着」と「共生」

～人と人、人と社会の関係性を深め、文化を根付かせる～

○具体的方策

- ①年間計画を作成し、計画的に事業を推進する
- ②ふれあいレインボーの組織の見直しを行う
- ③センターの施設改善と必要備品の整備をする
- ④各事業におけるPDCAサイクルを機能させる
- ⑤行政協働事業を展開する
- ⑥おやじ部会の活動を促進させる



年間計画の作成

複製厳禁

令和4年度年間行事計画(案)

須恵第三小学校区コミュニティ ふれあいレインボ

日付	4月	5月	6月	7月	8月	9月	日付	10月	11月
1	金 就活セミナー案内	日	水	金	月	木	1	土	火
2	土	月	木	土	火	金	2	日	水
3	日	火 憲法記念日	金	日	水	土	3	月	木 文化の日 軽スポーツ大会
4	月	水 みどりの日	土	月	木	日	4	火	金
5	火	木 子どもの日	日 第1回夏フェス実行委員会	火 地域防犯P	金 夏フェス事前準備	月 学びの広場チラシ配布	5	水	土
6	水	金	月	水	土 夏フェス	火	6	木	日 第1回イルミ実行委員会
7	木 高校入学式	土	火	木	日 夏フェス片づけ	水	7	金	月
8	金 中学校入学式	日	水	金	月	木	8	土	火
9	土	月	木 区長会	土 サマーマルシェ	火	金	9	日	水
10	日	火 推進会議(年間計画・予算等)	金	日 サマーマルシェ	水	土 ウォータムマルシェ	10	月	木 第3回イルミ実行委員会
11	月	水 学びの広場チラシ印刷依頼	土	月	木 山の日	日 ウォータムマルシェ	11	火	金
12	火 小学校入学式	木 就活セミナー	日	火	金	月	12	水	土
13	水	金	月	水	土	火 地域防犯P	13	木	日
14	木	土 マルシェ朗読・音楽鑑賞	火	木	日	水	14	金	月
15	金 HUG(避難所運営)案内	日 マルシェ	水	金 ウォータムマルシェ印刷依頼	月	木 軽スポーツ部会	15	土	火
16	土	月	木	土	火	金	16	日	水
17	日	火	金	日	水	土	17	月	木 区長会
18	月	水	土	月 海の日	木	日	18	火	金
19	火 花植え	木 役員会(夏フェス)	日	火	金	月 敬老の日	19	水	土
20	水	金	月 学習室案内配布	水	土	火	20	木	日 第2回イルミ実行委員会
21	木 区長会(年間計画・予算等)	土 中学校体育会	火	木	日	水	21	金	月
22	金	日	水	金	月	木 軽スポーツ案内	22	土	火
23	土 フリーマーケット	月 サマーマルシェチラシ印刷依頼	木 第2回夏フェス実行委員会	土	火 区長会	金 秋分の日	23	日	水 勤労感謝の日 イルミ設置日
24	日	火	金	日 第3回夏フェス実行委員会(会場づくり)	水	土	24	月	木 クリスマスマルシェチラシ印刷依頼
25	月	水 HUG(避難所運営)	土	月 ウォータムマルシェチラシ配布	木	日	25	火	金
26	火	木	日	火	金 学びの広場チラシ印刷	月	26	水	土 イルミ設置予備日
27	水	金	月	水	土	火 イルミ総務委員会	27	木	日
28	木	土 小学校運動会	火	木	日	水	28	金	月
29	金 昭和の日	日	水	金	月	木 生活支援協議体会議(区長)	29	土	火
30	土	月 サマーマルシェチラシ配布	木	土	火	金	30	日	水
31	日	火	水	日	月	土	31	月	日

備考									
イ	花植え	就活セミナー	学びの広場	学びの広場	学習室開放	ウォータムマルシェ		学びの広場	学びの広場

5 今ある課題とその克服のために

(1) 地域コミュニティの意義がわかっていない

藤原 和博 氏の話から学ぶ

1955年東京生まれ。東京大学経済学部卒業後、株式会社リクルート入社。東京営業統括部長、新規事業担当部長などを歴任後、ヨーロッパ駐在、そして同社フェローとなる。
2003年より5年間、都内では義務教育初の民間校長として杉並区立和田中学校校長を務める

学校が面白ければ、生徒は喜んで登校する。喜んで登校すれば一生懸命学ぶ。一生懸命学べば学力は向上する。学力が向上すれば学校は落ち着く。学校が落ち着けば学校は真剣に学ぶ場となる。そして学校は面白くなる。

克服方法→地域の活性化サイクルを理解してもらう

地域活性化サイクル

- 1 コミュニティが盛り上がる。
(地域がつながり盛り上がる。魅力的な行事で盛り上がる。)
- 2 住んでみたいなと思う。
- 3 実際に住む人が増え、人が集まりはじめる。
- 4 新築や土地購入が増え、地価が上がる。
- 5 誰でもが購入できなくなり、資産価値が上がる。
- 6 コミュニティを盛り上げる人材が多くなる。

心得1 因果応報

自分の行いが後々良いことにつながる

(2) コミュニティを支える地域の人材の育成が進んでいない。(高齢化、若手不足)

克服方法→ おやじ部会を推進会議の組織に入れることでコミュニティの若返りを図る
→ 斬新なアイデア、行動力、素早い情報共有、結束力

もともとは、小学校PTAのおやじの会のメンバー

※小学校PTAおやじの会は子どもの卒業とともにおやじも卒業だが推進会議のおやじ部会は、脱会届をだして了承されて初めて卒業となる。

つまり、**やめられない。**

おやじ部会を作ったことで

- 高齡化した組織が若返った。
- 今までと違ったアイデアが出てきた。
- 40代前後の父親の出番が増えた。
- 次世代の地域リーダーの宝庫となった。

心得2 しけた薪は燃えにくい、燃える薪から燃やせ

(3) コロナ禍で失われたもの(経験・価値観)の復活させる。

克服方法→再出発 (強力なリーダーシップ)

令和5年度がカギ

コロナさぼりなし

意見や批判がたくさんある (スルーする力)

心得3 覚悟を持つ

(4) 地域と行政のかかわり

認可地縁団体→法人格

このことで、コミュニティとしての活動が主体的にできるようになった。

行政……法的、制度的、行政システム的な対応、予算計上

コミュニティ……自由な発想のもと、自主的な活動の創造

心得4 ゆるやかな連帯でよい

6 最後に

コミュニティ活動にかかわる職員として意義と責務の認識

- 1 やってみたいこと(ビジョン)
- 2 そこそこな計画、工程はわかりやすく PDCAサイクルからDCPA
- 3 実行(実行力・実践力) AAR (Anticipation-Action-Reflection(見
通し、行動、振り返り)サイクル)
- 4 見直し



ウェルビーイングの実現に向けて

まちづくりの重要な一端を担う

心得5 コミュニケーションのプロになれ